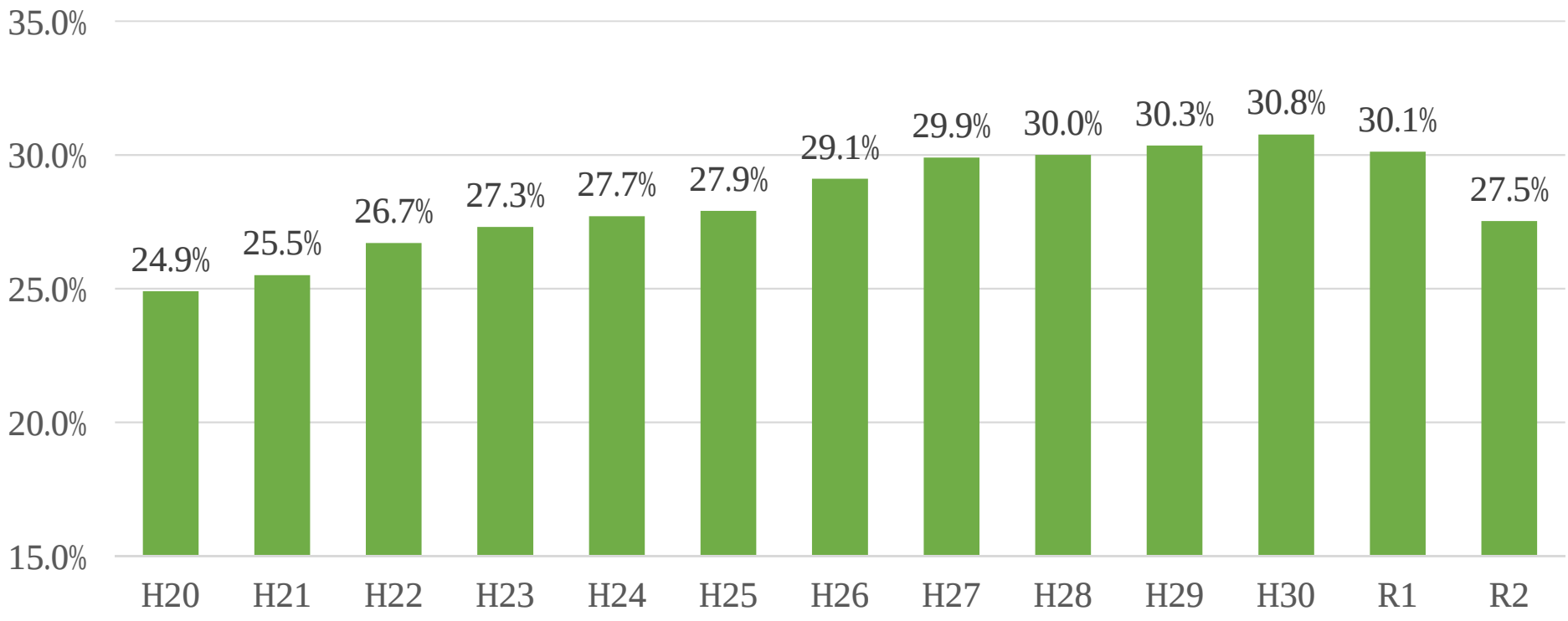
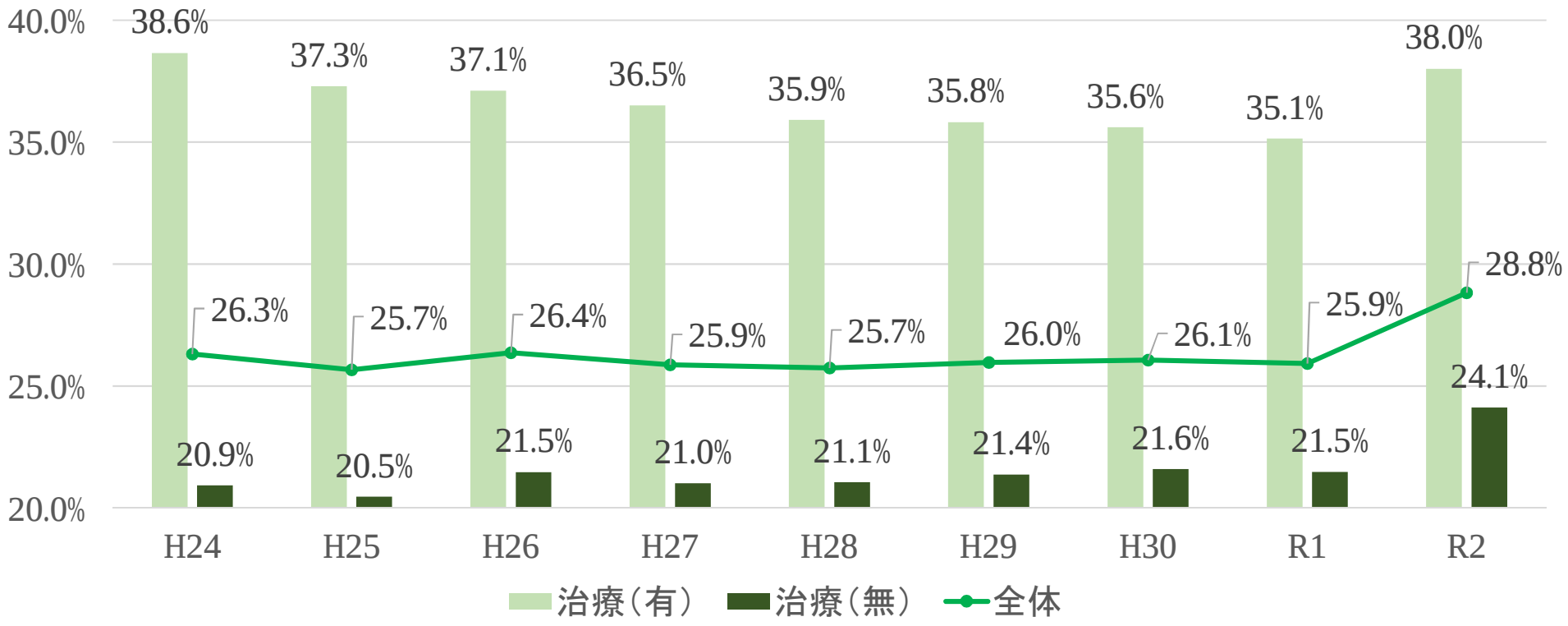
医療費分析
コロナ渦の影響の考察

大阪がん循環器病予防センター
循環器病予防部門
清水　悠路

特定健診受診率の推移
（平成20～令和2年度）　【市町村国保】



高血圧の推移
（収縮期≥140mmHg and/or 拡張期≥90mmHg)



令和2年度は、令和元年度に比較し、高血圧に該当する者の割合が増えた。

↓

①今まで健康意識が薄かった人(健康意識が低く、高血圧を放置していた人）が健診を受診した可能性
②健康不安のある人が、健診を受診した可能性
③今まで健康に問題がなかった人は、コロナの影響を考慮し、健診を受診しなった可能性
④医療機関受診者での健診受診者が増えている可能性
⑤医療機関で健診を受診していた者が、コロナ渦でも健診受診をしており、集団健診などで健診を受診していた者が健診受診をやめた可能性
⑥治療者において、コロナ渦で、血圧管理が不充分に陥ってしまった可能性

令和2年度は、令和元年度に比較し、高血圧に該当する者の割合が増えた。

①今まで健康意識が薄かった人(健康意識が低く、高血圧を放置していた人）が健診を受診した可能性

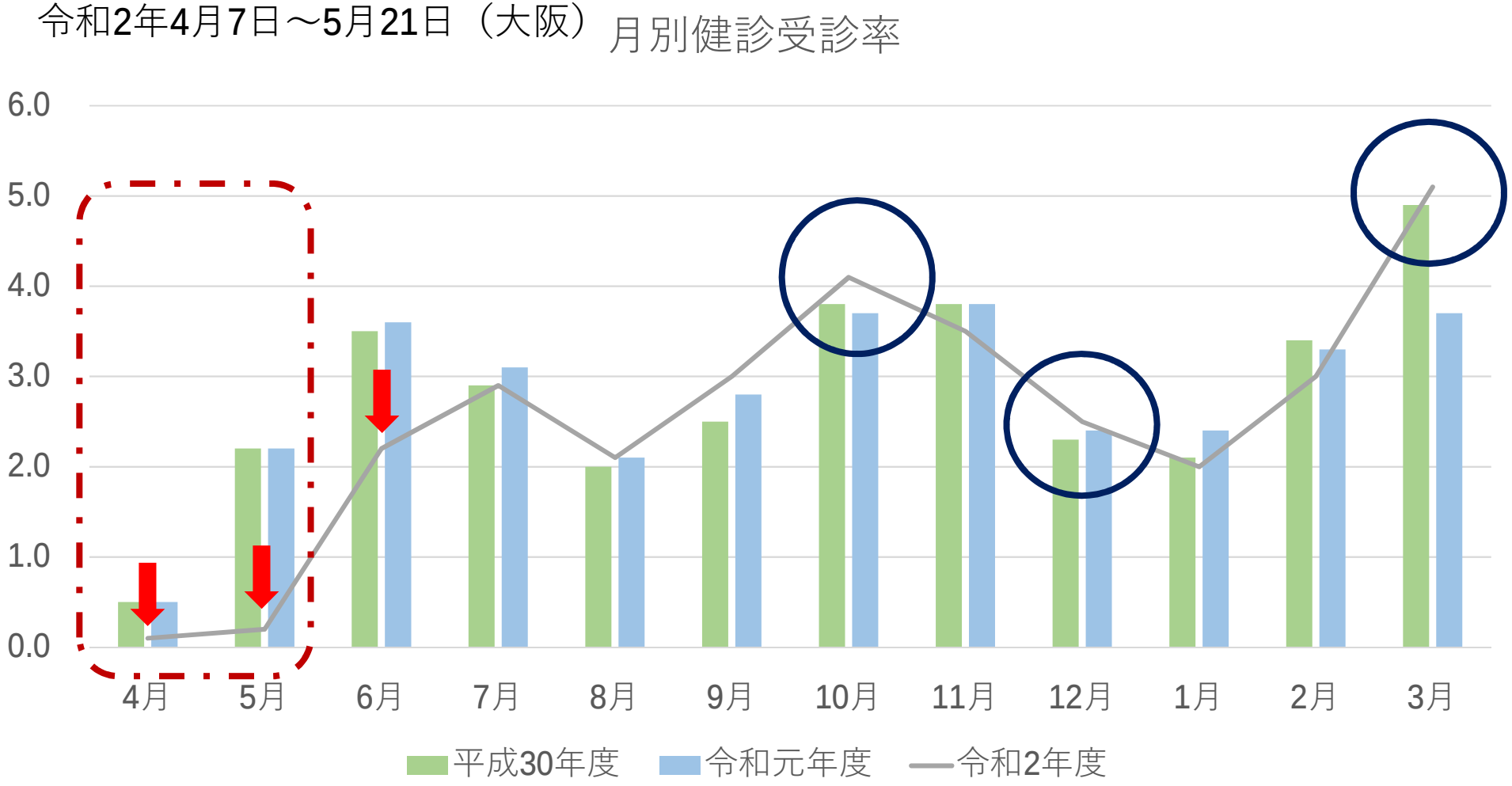
②健康不安のある人が、健診を受診した可能性

色々な背景が、今回の受診率の変化に影響を及ぼしており、様々な角度から、健診受診率の変化の原因を検討していく必要がある。

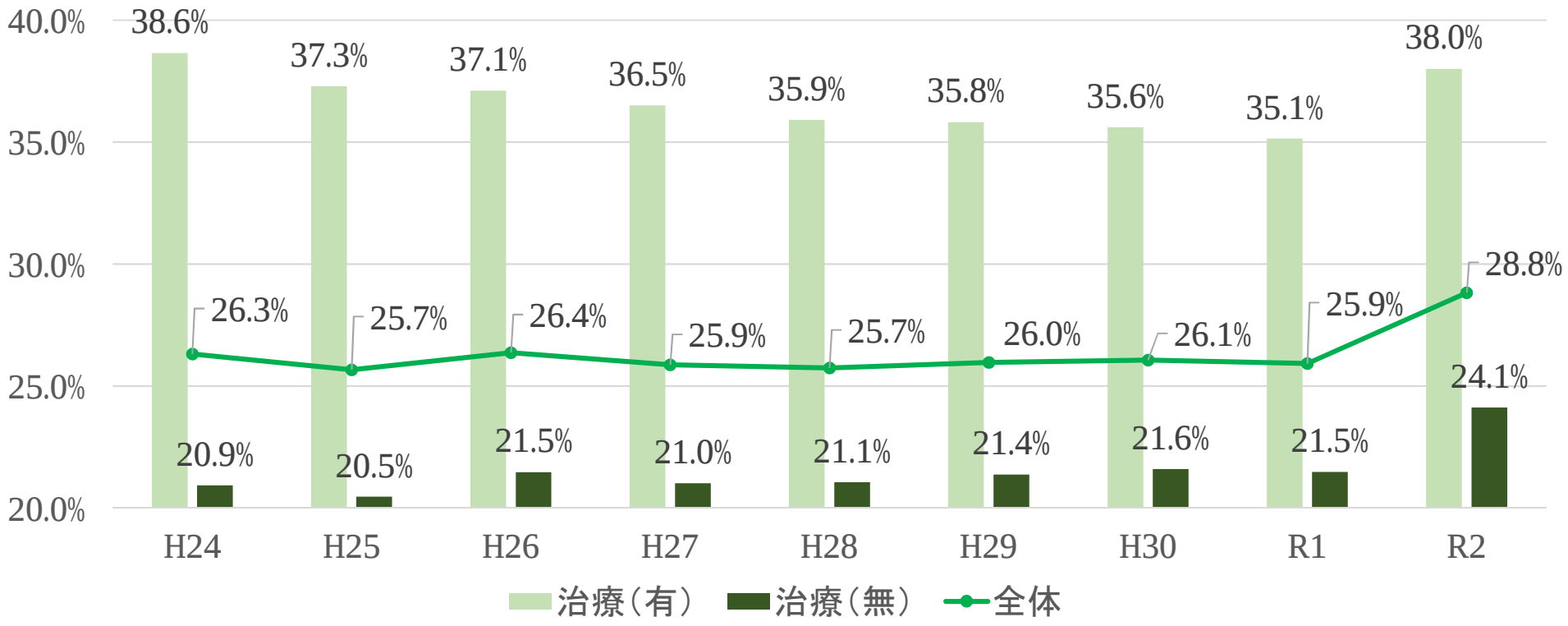
診受診をしており、集団健診などで健診を受診していた者が健診受診をやめた

⑥治療者において、コロナ渦で、血圧管理が不充分に陥ってしまった可能性

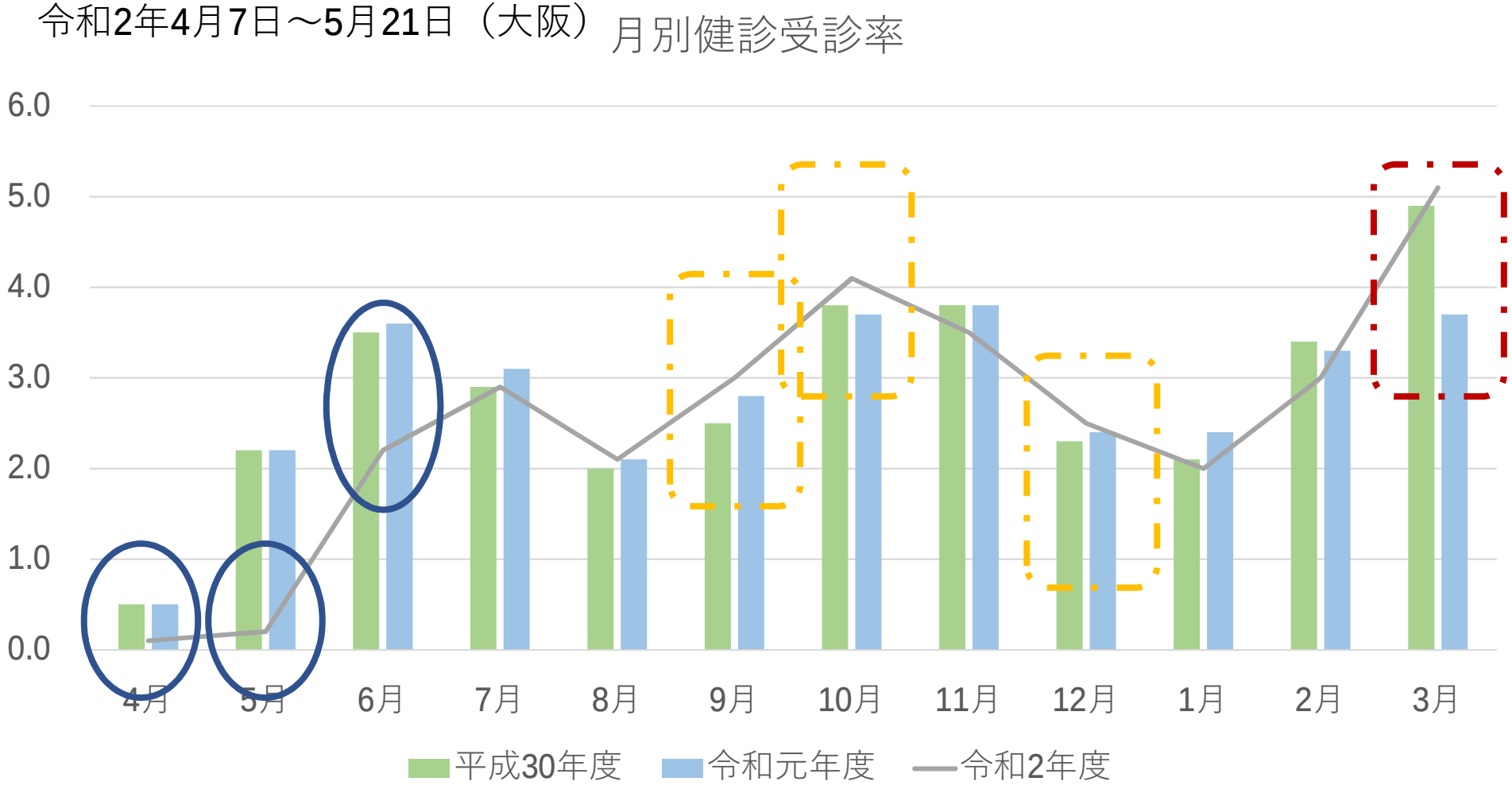
緊急事態宣言
令和2年4月7日～5月25日（国）
令和2年4月7日～5月21日（大阪）

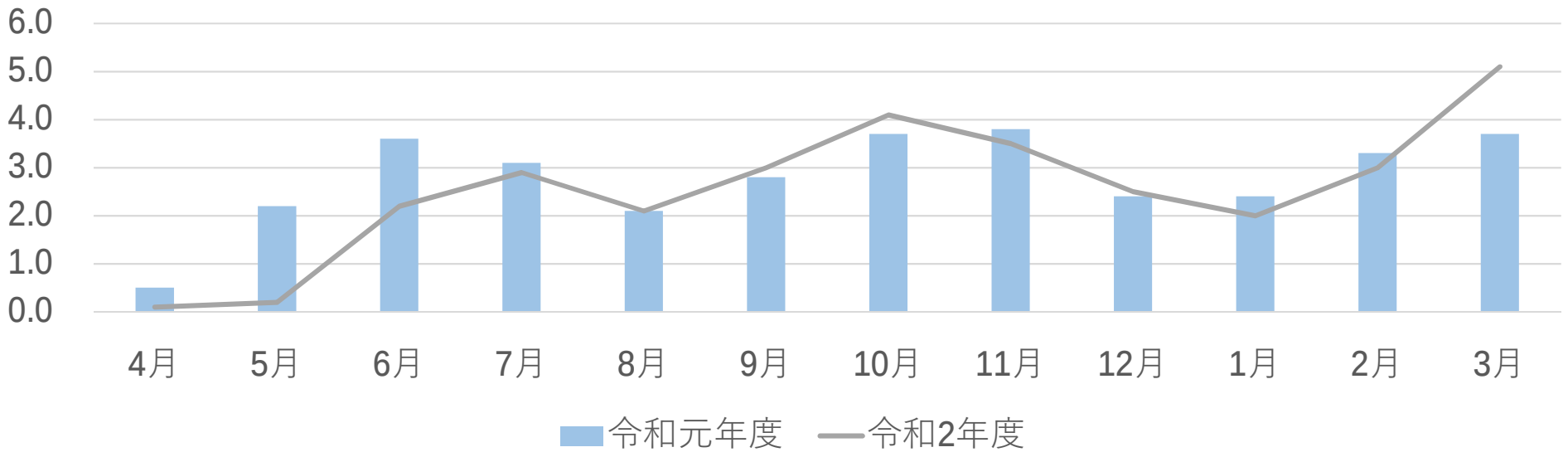


高血圧の推移
（収縮期≥140mmHg and/or 拡張期≥90mmHg)



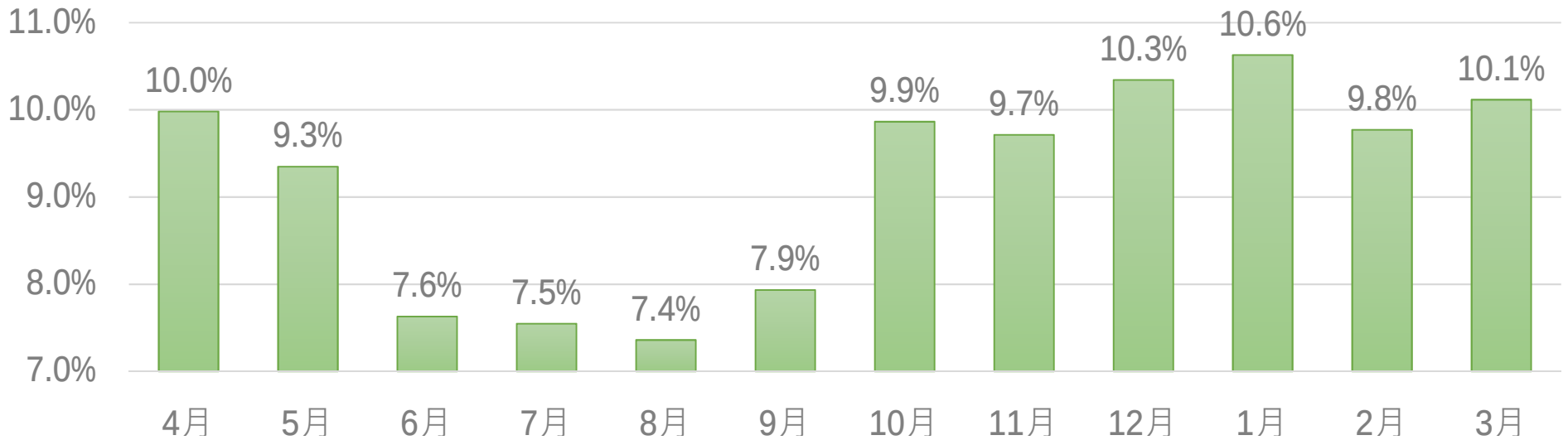
緊急事態宣言
令和2年4月7日～5月25日（国）
令和2年4月7日～5月21日（大阪）



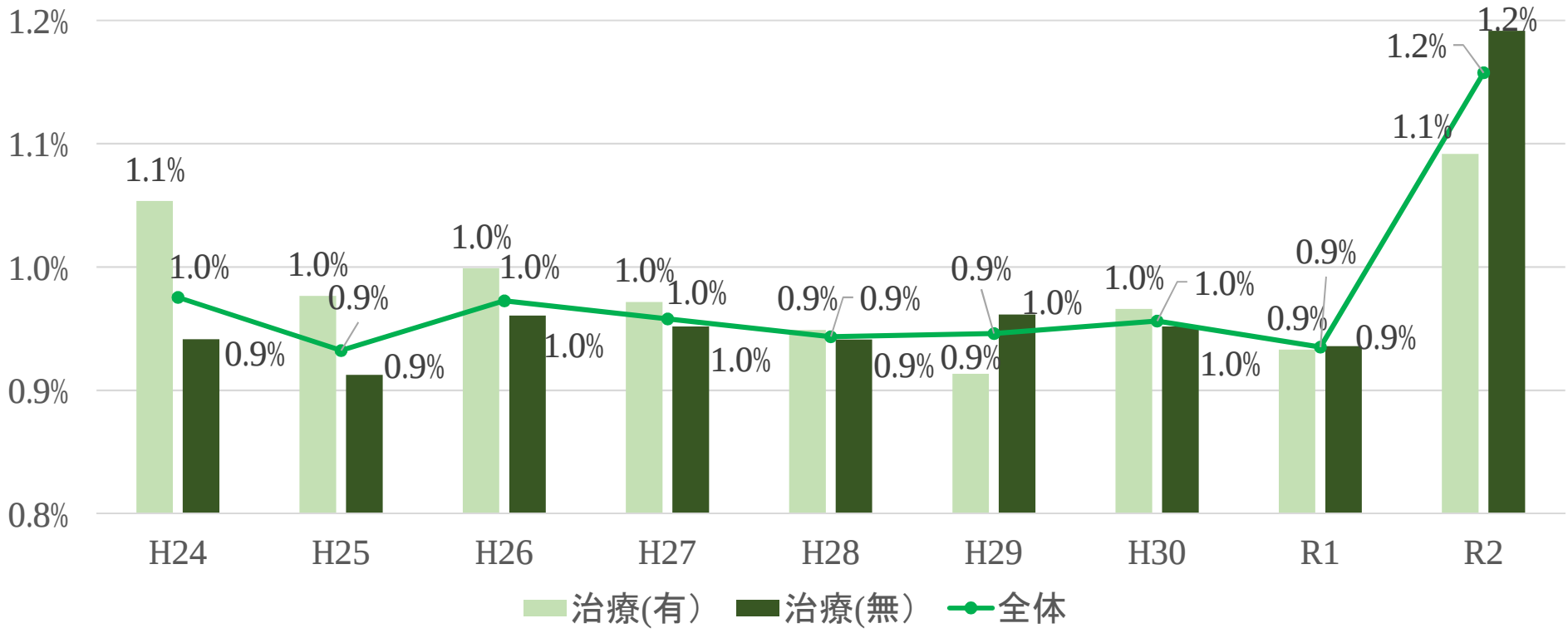


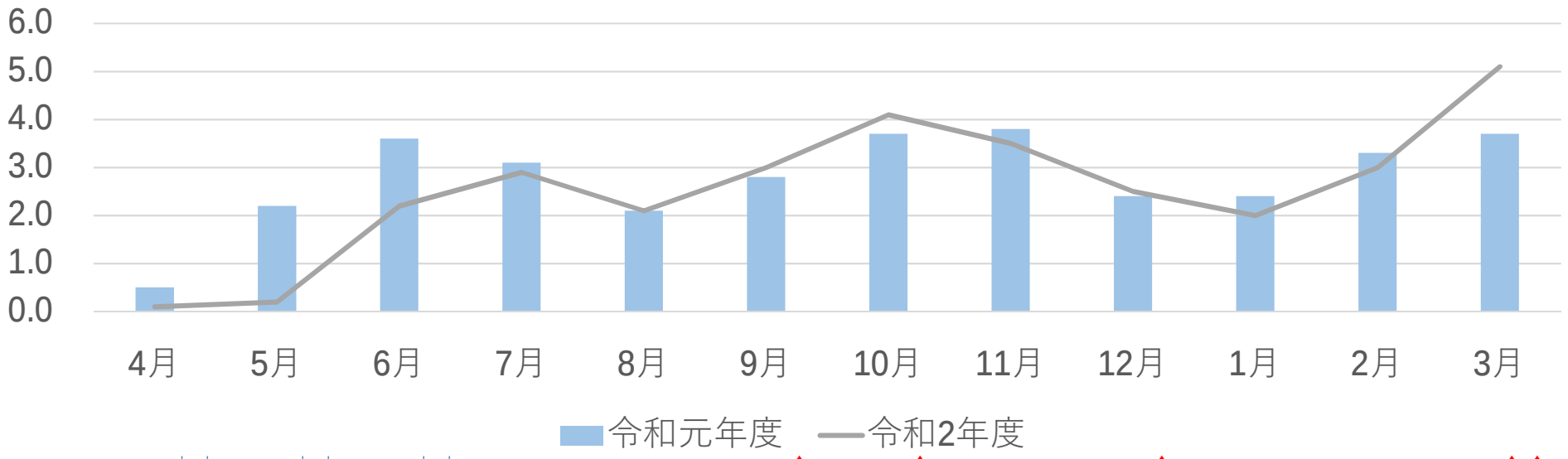
↓↓ ↓↓ ↓↓ ↑ ↑ ↑ ↑↑

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高血圧	111	184	2053	2696	1947	2935	5105	4278	3190	2716	3708	6420
健診受診者	1112	1968	26907	35718	26450	36988	51752	44041	30840	25552	37946	63462
%	10.0%	9.3%	7.6%	7.5%	7.4%	7.9%	9.9%	9.7%	10.3%	10.6%	9.8%	10.1%

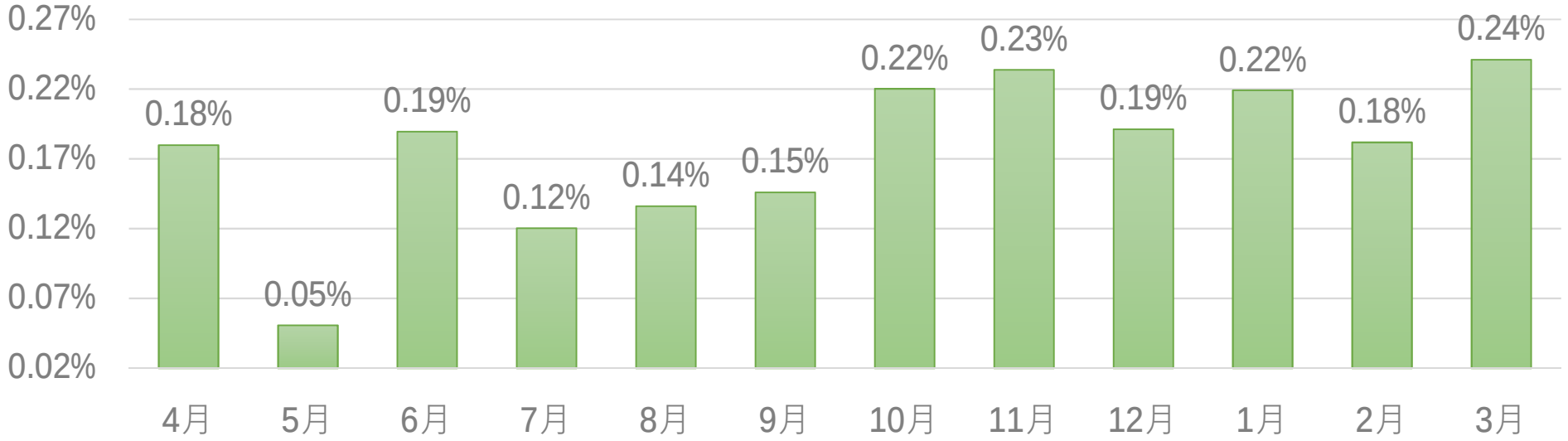


重症高血圧の推移
（収縮期≥180mmHg and/or 拡張期≥110mmHg)





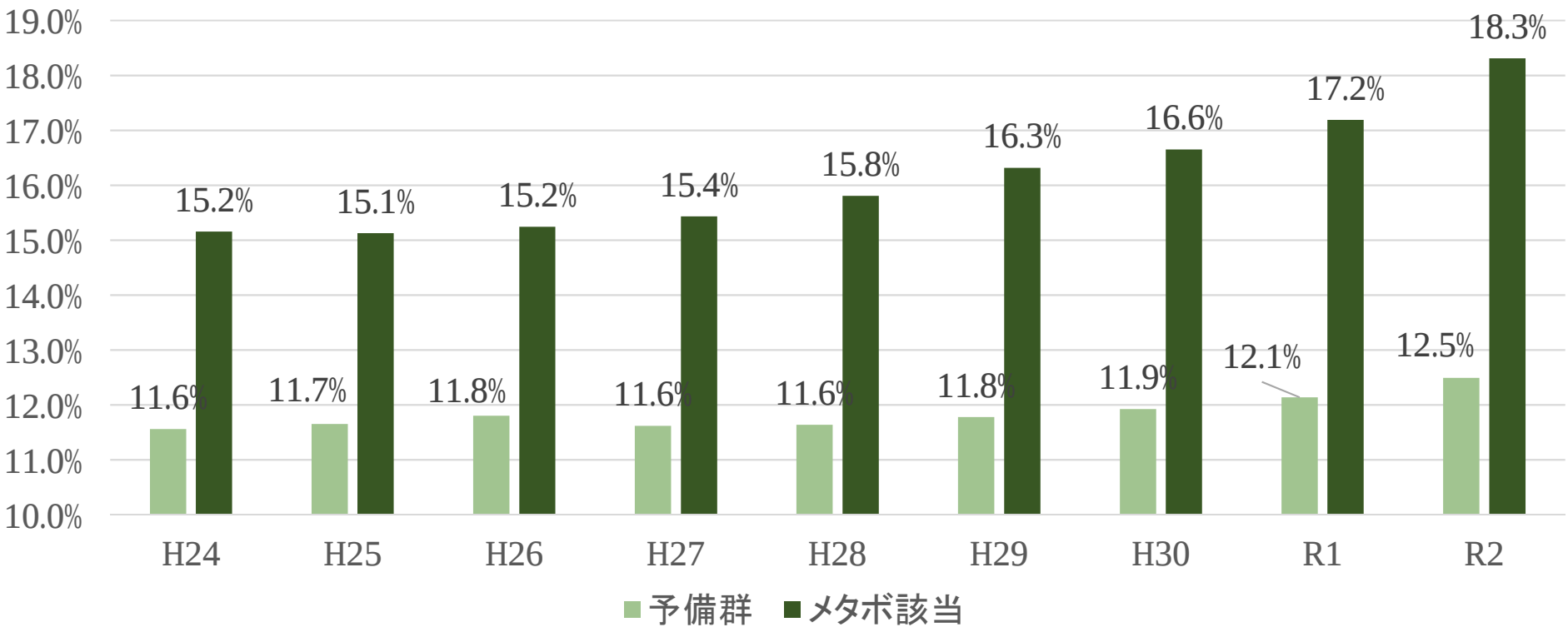
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重症高血圧	2	1	51	43	36	54	114	103	59	56	69	153
健診受診者	1112	1968	26907	35718	26450	36988	51752	44041	30840	25552	37946	63462
%	0.18%	0.05%	0.19%	0.12%	0.14%	0.15%	0.22%	0.23%	0.19%	0.22%	0.18%	0.24%



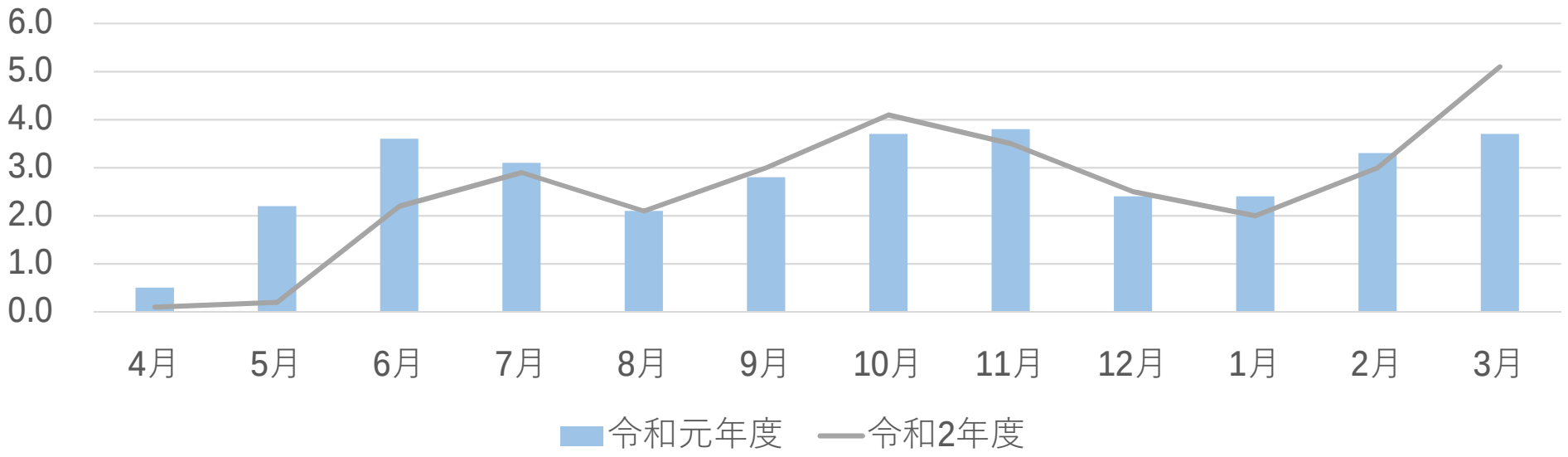
従って、

- 受診月が、健診受診者における高血圧・重症高血圧有病率上昇に影響を与えている可能性も検討する必要がある。

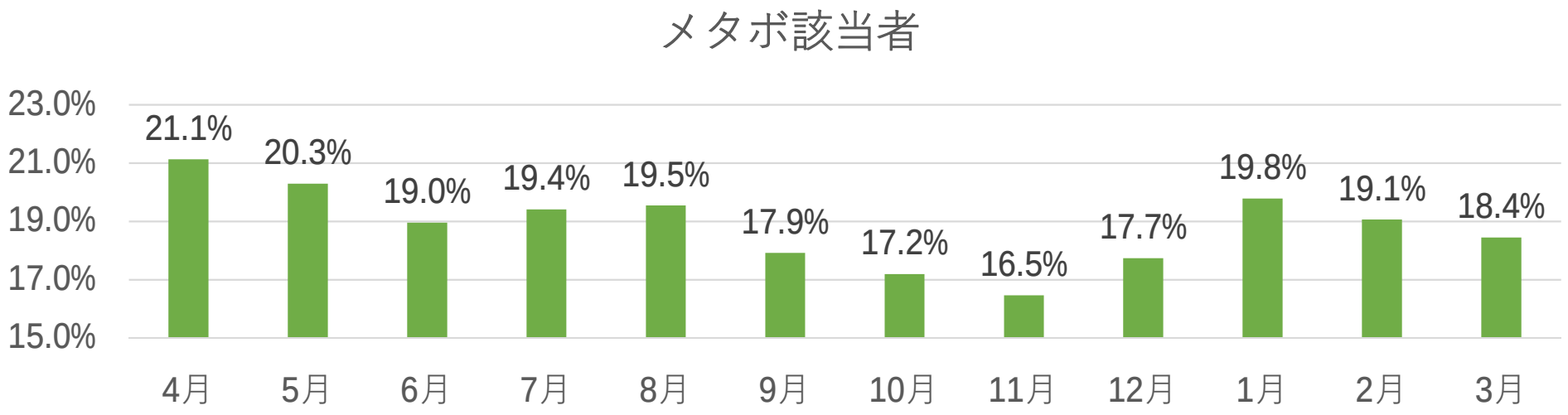
メタボリックシンドローム該当者

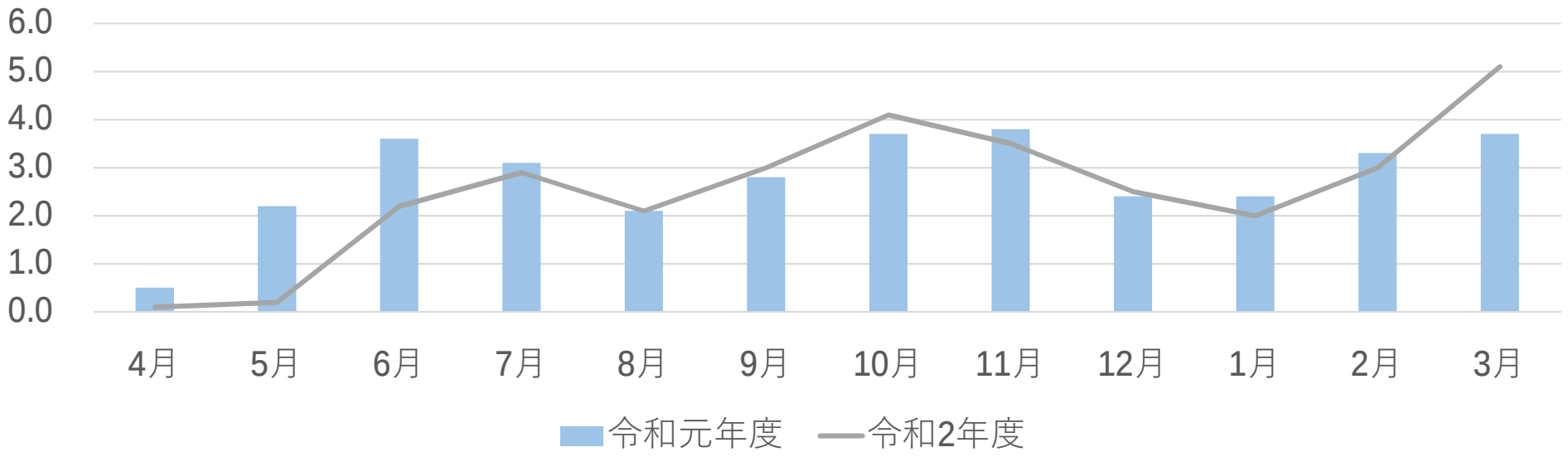


令和2年度も、いままでの傾向を継続(上昇傾向）。

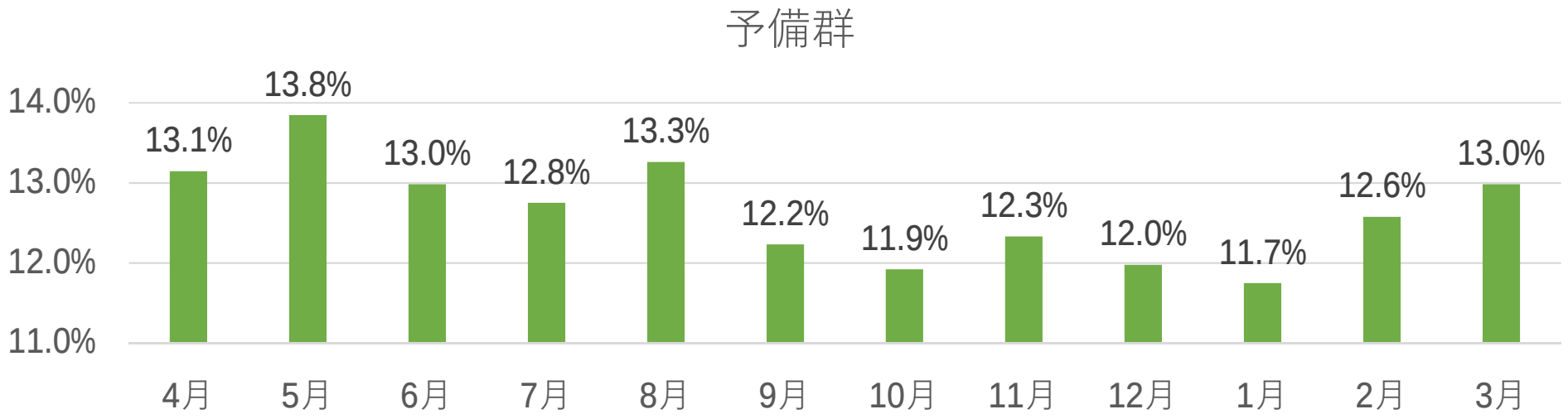


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
該当	233	397	5074	6897	5123	6586	8845	7211	5433	5028	7200	11631
	21.1%	20.3%	19.0%	19.4%	19.5%	17.9%	17.2%	16.5%	17.7%	19.8%	19.1%	18.4%
健診受診者	1103	1957	26773	35533	26210	36751	51443	43793	30639	25417	37766	63071

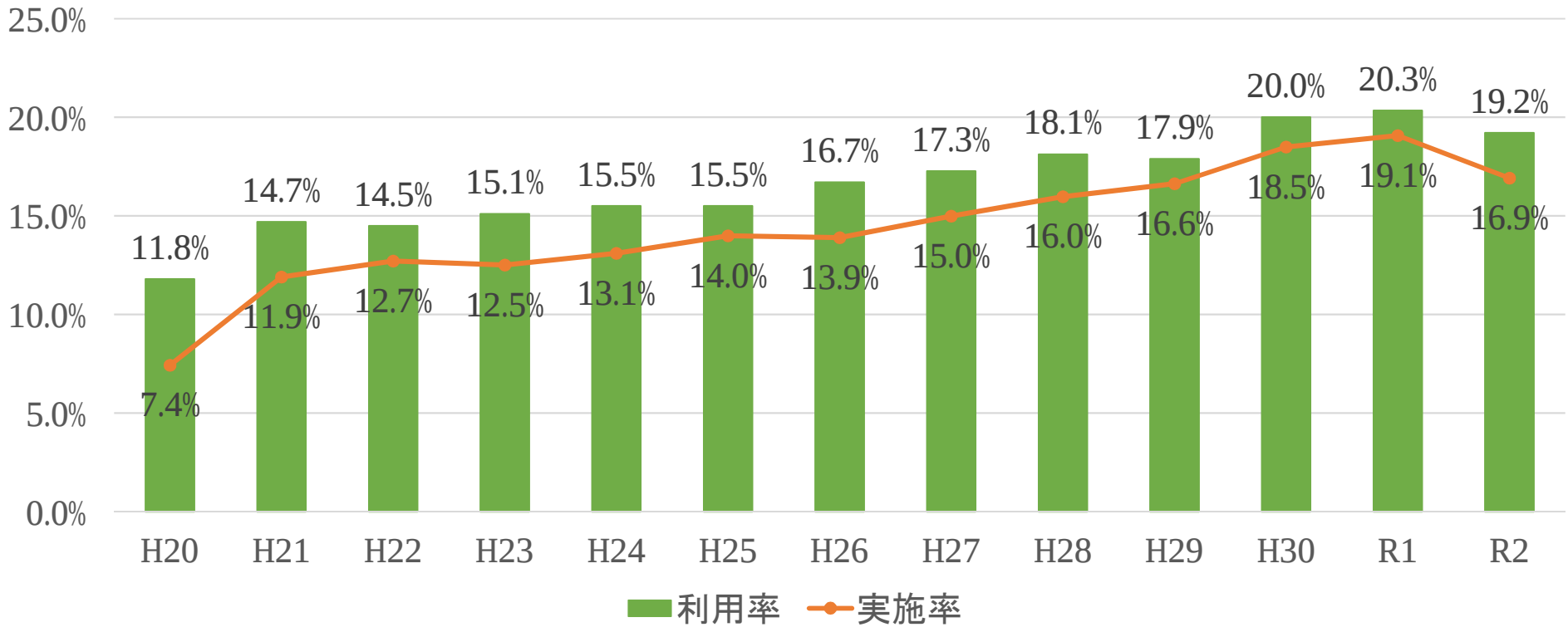


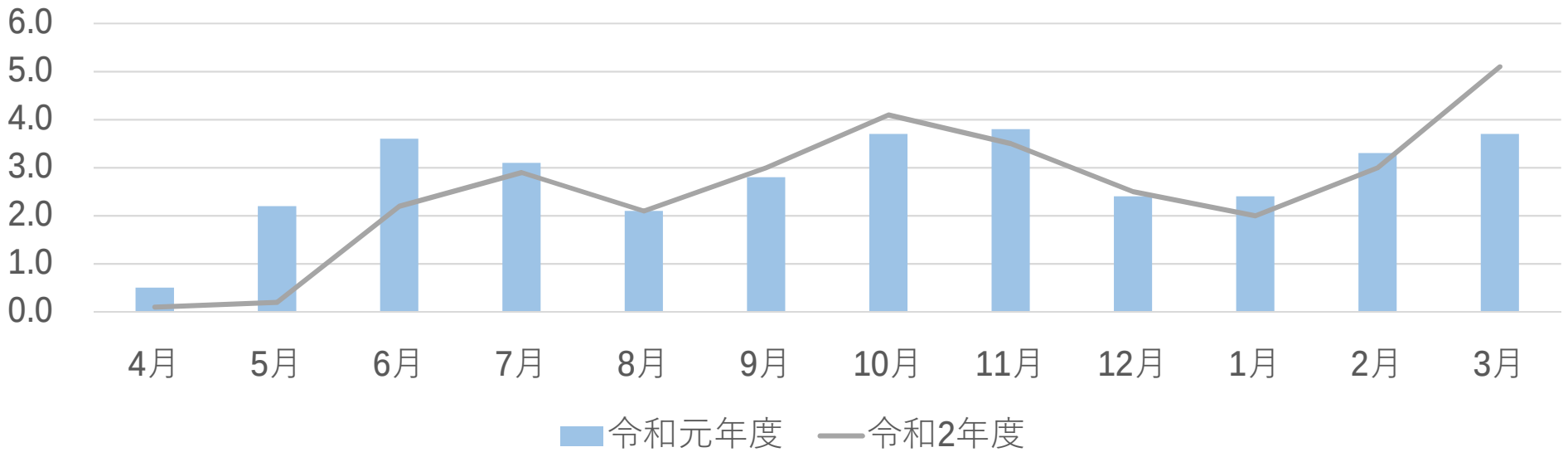


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予備群	145	271	3476	4531	3476	4495	6133	5400	3670	2986	4749	8189
	13.1%	13.8%	13.0%	12.8%	13.3%	12.2%	11.9%	12.3%	12.0%	11.7%	12.6%	13.0%
健診受診者	1103	1957	26773	35533	26210	36751	51443	43793	30639	25417	37766	63071

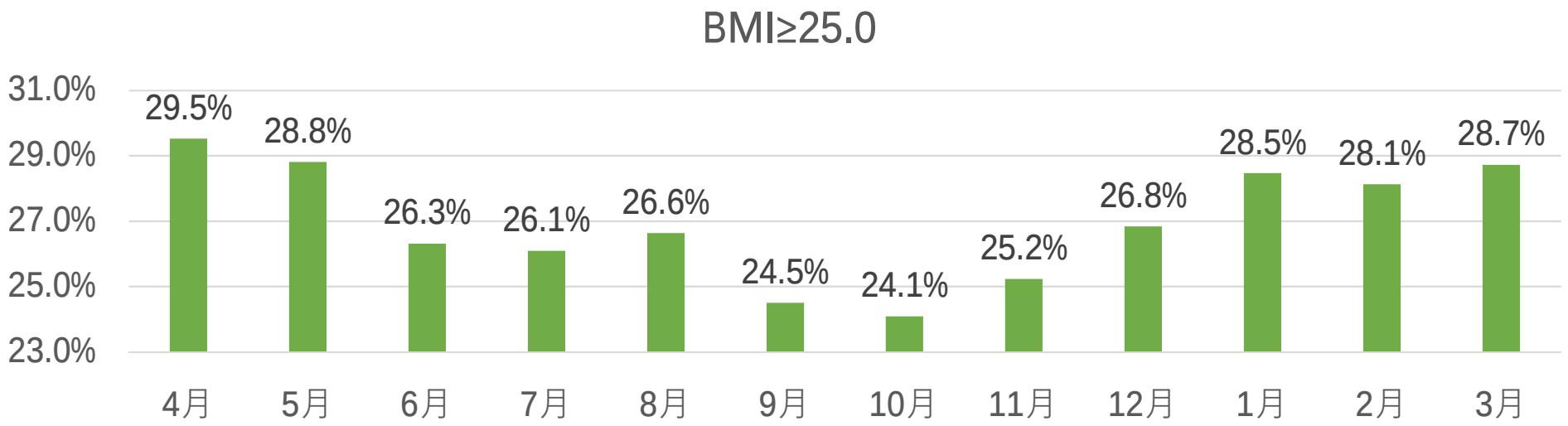


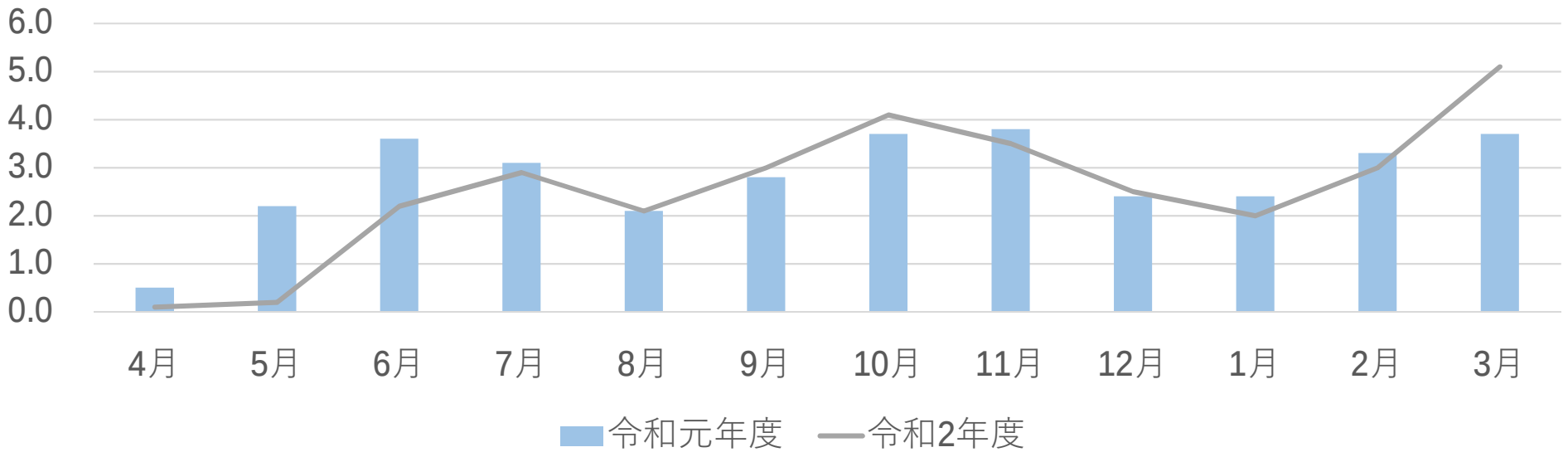
特定保健指導、利用率・実施率



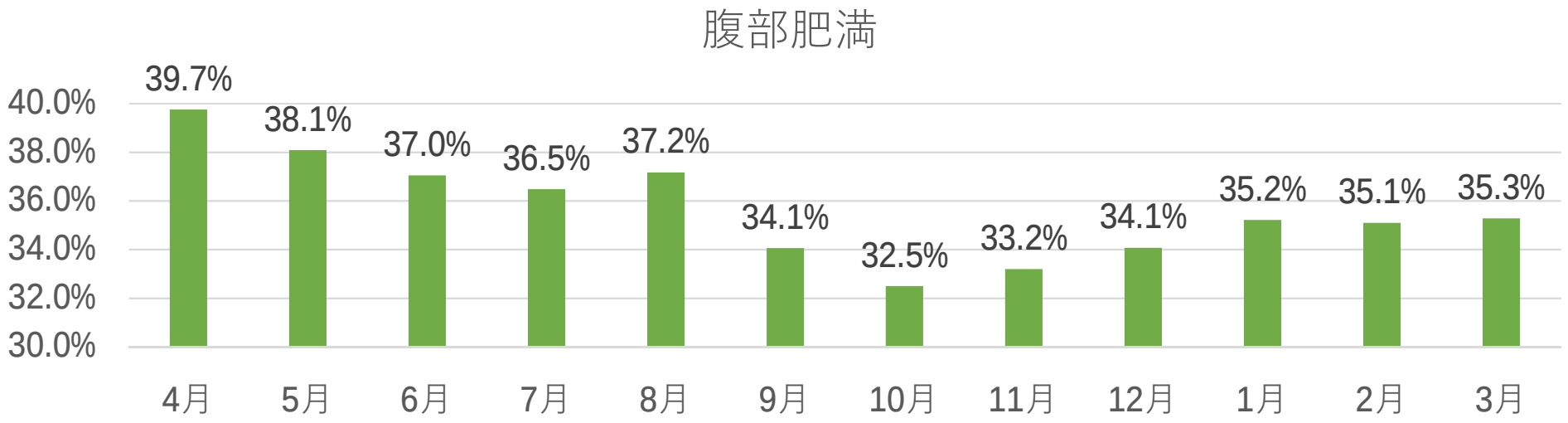


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
BMI≧25.0	328	567	7079	9316	7043	9062	12463	11108	8275	7273	10674	18228
	29.5%	28.8%	26.3%	26.1%	26.6%	24.5%	24.1%	25.2%	26.8%	28.5%	28.1%	28.7%
健診受診者	1111	1968	26905	35714	26448	36987	51756	44036	30840	25551	37947	63460





	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
腹部肥満	442	749	9965	13024	9831	12594	16818	14617	10506	8997	13317	22385
	39.7%	38.1%	37.0%	36.5%	37.2%	34.1%	32.5%	33.2%	34.1%	35.2%	35.1%	35.3%
健診受診者	1112	1967	26899	35704	26447	36980	51747	44027	30834	25546	37946	63443



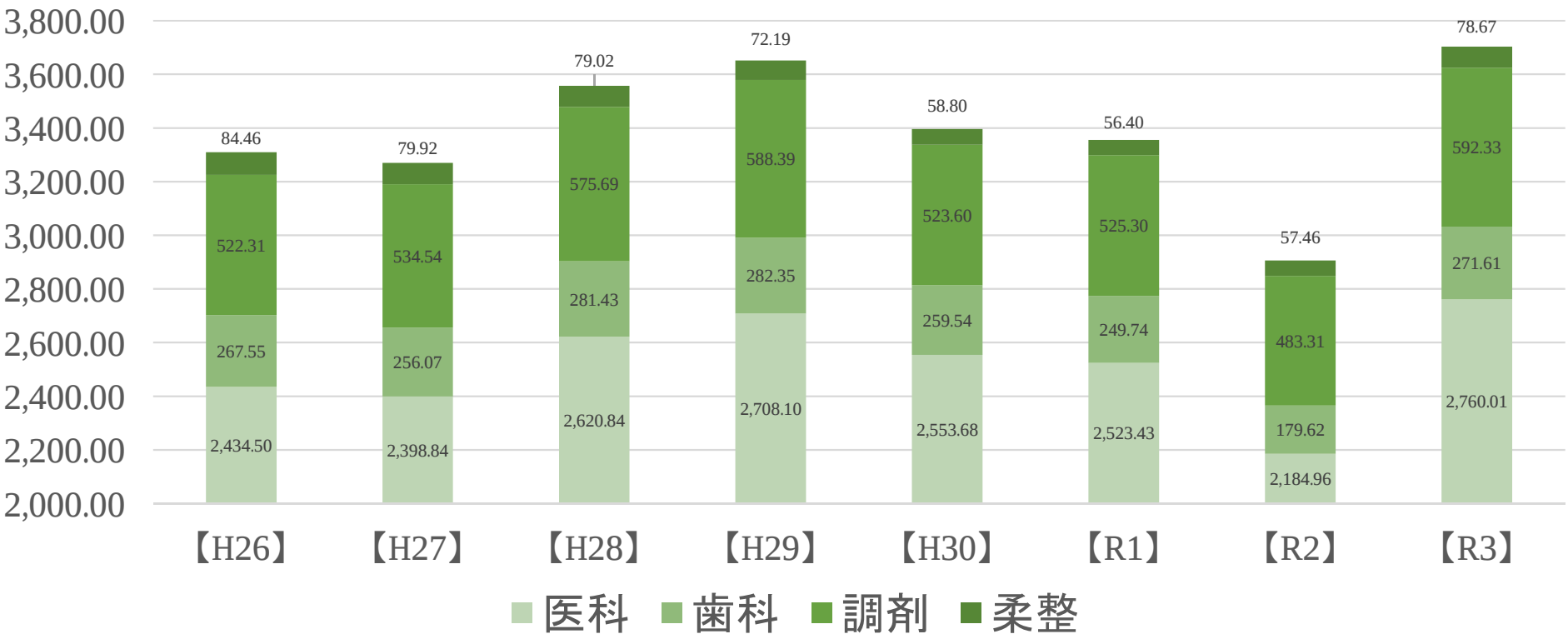
考察

１）コロナの影響でメタボ該当者は増えているが、その増加程度に関して過小評価している可能性がある。

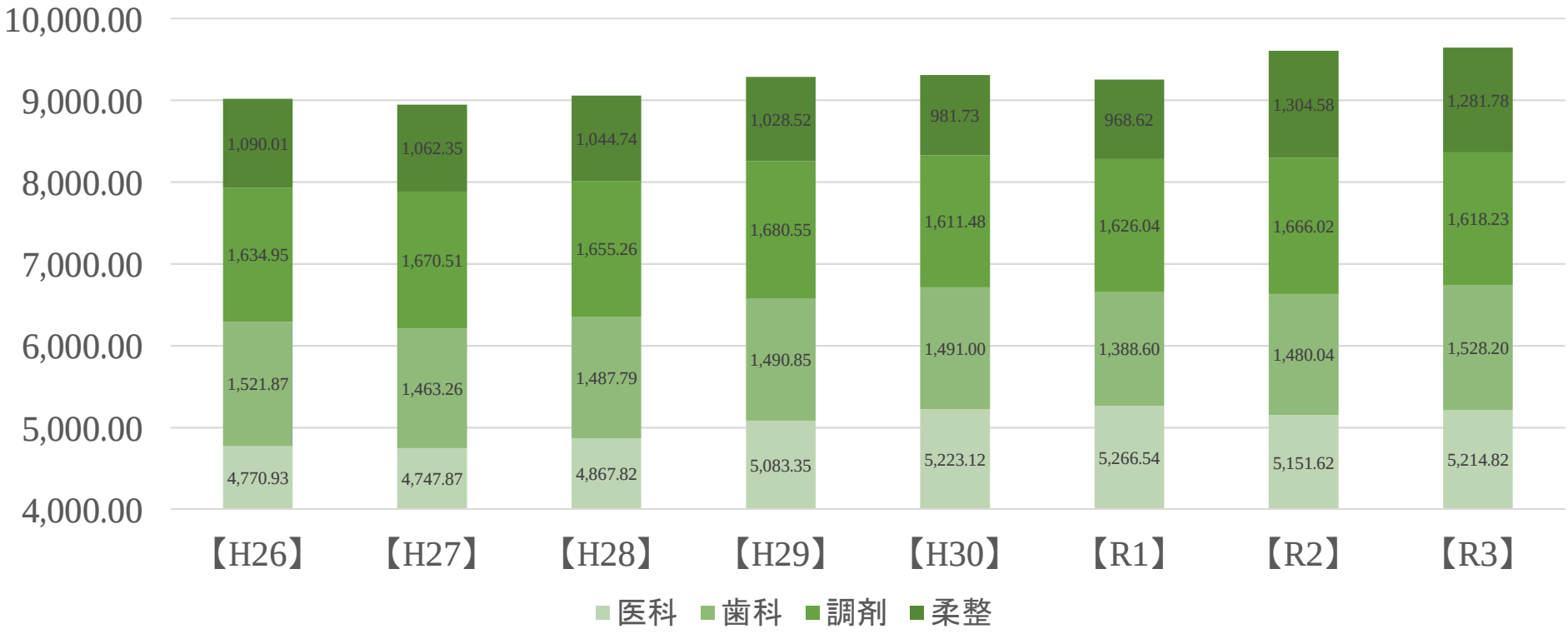
２）メタボ該当者において、過体重よりも、腹部肥満の方の影響が強いと考えれ、
運動不足による筋肉減少の脂肪増加の影響が背景にあると考えられる。

月別健診受診率
6.0
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
令和2年度

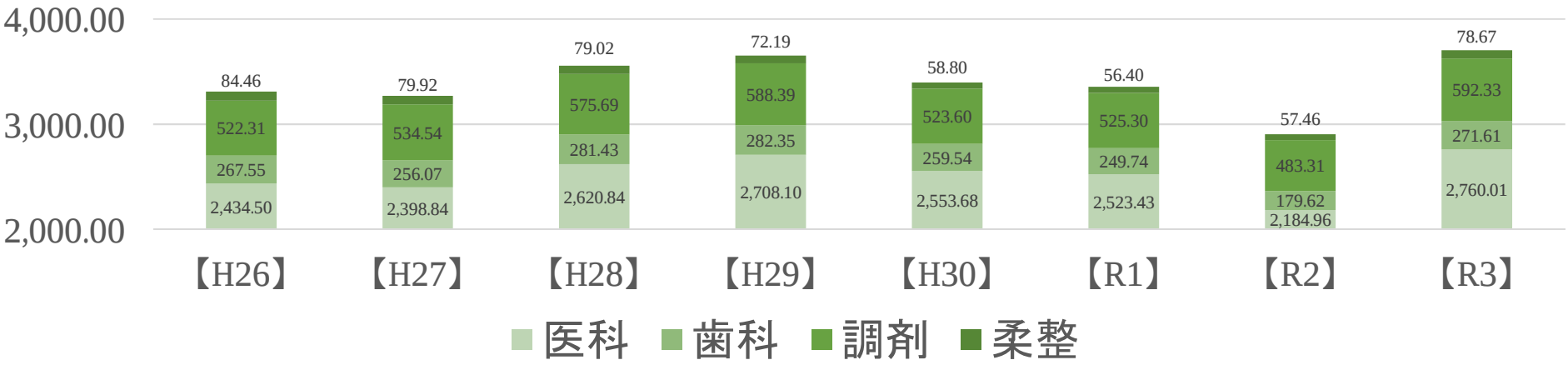
被保険者1名あたりの項目別保険点数推移（男女）【市町村国保】



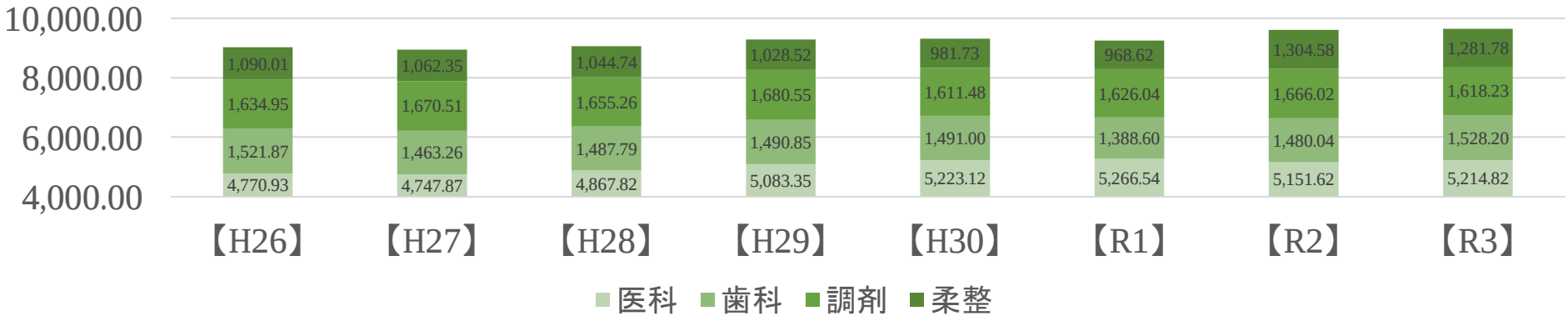
医療機関受診者1名あたりの項目別保険点数推移（男女）【市町村国保】



被保険者1名あたりの項目別保険点数推移（男女）【市町村国保】



医療機関受診者1名あたりの項目別保険点数推移（男女）【市町村国保】



まとめ

- 解析には、結果そのものを鵜呑みにすると、判断を誤る事に繋がり得る。解析結果をもたらす背景因子を丁寧に考慮した多面的な解析が必要。

- コロナ渦の影響は、非常に判断を難しくしているが、今までの傾向の説明に役立つこともある。